

年	組	名前
---	---	----

国東半島一帯で、松くい虫による松枯れの被害が広がっています。



枯れた松の目立つ国東市国東町東壱米の羽田海岸1丁目、国東市

猛暑が原因?

白砂青松の風景が続く国東半島一帯で松くい虫による松枯れの被害が広がっている。県などによると、杵築市の住吉浜リゾートパークで昨年度の10倍以上、国東半島一帯でも4倍以上の被害が出ているという。今夏の猛暑などが原因とみられ、関係者は松の伐採、処分など対応に追われている。

松枯れ被害拡大

杵築・住吉浜 昨年度の10倍以上



松くい虫被害 増殖し、衰弱させるツツミサイセン、チュウという線虫をマツノマダラカミキリが媒介して移動すること広がる。対策として松の内部でツツミサイセンが幼虫のうちに伐採する方法や、線虫の増殖を防ぐ薬を幹に注入する方法が取られている。

県内では1973年度を境だつた②暑さで松の樹勢が弱まっていた。今夏は記録的な高温を原因とみて、特に杵築や国東の被害が大きいのは、「防除されにくい松が残っている」といわれる。国東半島松くい虫防除協会（国東市）は「防除は主に県が負担し、ゴルフ場と話をした。」

国東半島 4倍以上

被害が確認され始めたのは7月ごろから。各地で赤く枯れる松が増えてきた。県東部振興局が管内を調査したところ、9月末時点の目測で昨年同時期の4倍以上となる約423立方メートルの被害材積量を確認した。

場などの保安林でない場所は職員が伐採して海岸で燃やしている。ここ数年は年間10〜数十本程度の伐採をしてきたが、本年度はすでに430本を切ったという。パークの釘宮浩三園長は「住吉浜の松林は防災、景観の観点から非常に重要なもの。保護活動は続けているが、今年は異常です」と肩を落としている。

(2013年12月14日朝刊21面)

①半島一帯での被害は、昨年度と比べどれくらい増えているでしょう。

.....

.....

.....

.....

②被害増加の原因はどういったことが考えられていますか。

.....

.....

.....

.....

③「白砂青松の風景」とはどういうことでしょうか。調べてみよう。

.....

.....

.....

.....